

## 2006年 山のトイレを考える会 活動報告

仲俣善雄（山のトイレを考える会）

### 1. 美瑛富士避難小屋トイレ設置の署名を締め切る（2006年4月30日）

2005年7月1日から開始した美瑛富士避難小屋にトイレ設置を求める署名活動は、2006年4月30日で締め切りました。活動期間は10カ月でしたが、最終署名数は、26,768筆と大変多くの署名をいただきました。

### 2. 山のトイレマナー袋を作成（2006年5月25日）

当会の重要な活動の一つに「トイレ紙の持帰り運動」があります。当会発足当初から啓発用ツールの製作について検討していましたが、資金不足で実現できませんでした。

このたび登山・トレッキングウェアの専門メーカーである（株）ムッシュ様のご支援で製作することができました。当会と（株）ムッシュ様で仕様について検討し、（株）ムッシュ様のロゴを入れることで、費用の全ては（株）ムッシュ様で負担していただくことで製作しました。山岳団体や山岳ツアー会社様等で会員や登山者に配布して啓発活動にご協力をお願いします。必要数を当会事務局までご連絡くだされば、送付いたします。

トイレ紙は回収して、いつも綺麗な山であることを願っています。

※このマナー袋は（株）ムッシュ様の山岳環境保全を主目的とした、山を愛する方々の会員組織「M2C2プロジェクト」の通信販売売上の一部で作成されました。

### 3. 美瑛富士の署名、環境大臣と北海道知事へ提出（2006年6月27日）

6月27日「美瑛富士避難小屋にトイレ設置を求める連絡会」では、札幌市の環境省北海道地方事務所の青山所長に要請書とともに署名を提出しました。所長は「このような趣旨で署名が集められるのは全国的にも例のないことなので重くうけとめる。今後は地元の意向を聞いたり、現地の状況を勘案などしながら対策を検討していきたい」との答えを頂きました。

その後、北海道庁で、佐竹自然環境課長に署名（コピー版）を渡しました。「国立公園の施設整備は環境省の所管であるが、地元自治体としてお願いや働きかけなどを考える。また、山のトイレを考える会と相談しながらいろいろな取り組みをすすめたい」という趣旨の回答をいただきました。

### 4. ニュースレターとマナー袋を送付（2006年7月25日）

山のトイレデーの案内周知と一緒にNO. 6ニュースレターと山のトイレマナー袋を、関連団体や個人に送付しました（送付先は約550箇所）

5. 2006全道一斉山のトイレデー実施（2006年9月3日）

2006全道一斉山のトイレデーは、北海道の19箇所の登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。

参加者は約100名を超え、マナー袋、マナーガイドは約800部を配布することができました。当会の活動目的の一つである「トイレ紙は持ち帰りましょう」を今回のトイレデーの主活動とし、登山者に呼びかけました。

当会発足してから7年が経過しましたが、「トイレ紙は持ち帰っているよ」「携帯トイレも持っていますよ」との登山者が多くなっていることを実感したトイレデーでした。活動に参加して頂いたみなさま、ありがとうございました。

6. 環境省北海道地方環境事務所と意見交換

環境省北海道地方環境事務所の3名と当会の横須賀代表を含め4名とで、美瑛富士避難小屋トイレ設置署名に対する環境省の今後の取り組みについて、意見交換をしました。横須賀代表からこれまでの経緯や美瑛富士の現状について写真などを使用して説明し、トイレ設置の必要性を改めて要望しました。

環境省も署名を受け取った後、美瑛町と現地確認に行っており、やはり、トイレ設置後の維持管理体制と費用をどうするのが、最大の課題とのことでした。

今後もコミュニケーションを相互に図り、トイレ設置に向け、課題解決を図っていくことで意識合わせしました。

7. ニュースレターの配布（2007年1月16日）

第8回フォーラムの案内状に同封し、当会の活動報告として2006年ニュースレターを約550通、関係団体、登山者等に送付しました。

8. 山のトイレマナーガイドの印刷（2007年1月26日）

2004年2月に初版を作成した「山のトイレマナーガイド」は、多くの登山者や関係山岳団体に配布してきましたが、在庫も底をついたことから、来年度の活動用に3,000部を印刷しました。今後も各種イベントや山開きなどで、啓発用ツールとして配布していきたいと思います。

9. 大雪トイレ注意掲示板の製作（2007年2月）

大雪山の避難小屋トイレに大量のゴミが捨ててあり、2000年と2001年の糞尿のへり搬出で汲み取りに大変な支障をきたしました。一部のモラルの無い登山者が、いろいろなゴミを捨てた結果ですが、これを防止しようと下記のような注意掲示板を製作することにしました。

本件は道庁自然環境課とも話し合い、当会の費用で製作、取り付けは今年の夏を予定し

ています。白雲、ヒサゴ、忠別、上ホロ避難小屋トイレの4箇所を予定しています。

登山者の皆様へのお願い

- ・便槽内に、ゴミを一切投げ入れなで下さい
- ・使用済みのトイレ紙は、お持ち帰り下さい

(お願いする理由)

- ・トイレ便槽内容物は、数年に一度、ポンプ等で吸い上げ、ヘリで搬送し下界のし尿処理場で処理しています。ゴミの投入により作業が非常に困難でした。
- ・また、使用済みの紙の持ち帰りは、内容物の減少となり、トイレ使用期間を延ばすことの手助けとなります。

北海道環境局自然環境課

山のトイレを考える会

#### 10. 第8回山のトイレを考えるフォーラム開催（2007年3月10日）

第8回目のフォーラムが札幌市環境プラザで開催され、52名の参加者を迎えて行われました。今回のテーマは「美瑛富士避難小屋に似合うトイレと管理のあり方」です。ゲストスピーカーは次の4人でした。

- ・加藤 篤氏（日本トイレ協会）
- ・村上隆広氏（斜里町環境保全課）
- ・吉田敏則氏（斜里岳 清岳荘管理人）
- ・河田 充氏（NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンタ）

最初に日本トイレ協会の加藤篤氏から「山岳トイレ技術の概略と導入事例」と題して、日進月歩のバイオトイレの最新技術動向についてお話をいただきました。そのほかゲストスピーカーからは、知床の世界自然遺産登録とトイレ問題、斜里岳トイレ問題の現状、東大雪の山トイレ事情、そしてそれぞれの取り組みについて発表していただきました。

討論では、美瑛富士避難小屋にトイレを設置するとすると、どのような方式がよいか、維持管理方法は、また、黒岳バイオトイレ改善に向けた今後の取り組みなど、約4時間の熱い討論が行われました。

以上

## 2006山のトイレデー活動報告

2006山のトイレデーは9月3日に実施しました。北海道の約19箇所の登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を一斉に行いました。参加者は約100名、マナー袋、マナーガイドは約800部を配布することが出来ました。当会の活動目的の一つである「トイレ紙は持ち帰りましょう」を今回のトイレデーの主活動とし、登山者に呼びかけました。

当会発足してから7年が経過しましたが、「トイレ紙は持ち帰っているよ」「携帯トイレも持っていますよ」との登山者が多くなっていることを実感したトイレデーでした。活動に参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

山域	山名	実施場所	月日	参加者(敬称略)	人数	マナーガイド 配布数	マナー袋 配布数
道央	空沼岳	万計山荘・山頂	9/3	小笠原・かすみ草・マリカ・だんばら・じゅん千歳・ベッキー・森山・戸川	9	72	72
道央	空沼岳	万計沢コース	9/3	山びこ山友会	1	5	5
道央	札幌岳	冷水コース	9/3	上井博志・泉恵子・増子祐子	3	45	45
道央	手稲山	平和の滝コース	9/3	百松山岳会	2	30	30
道央	春香山	桂岡コース	9/3	ファミリー山の会	2	4	4
道央	恵庭岳	ホロピナイコース	9/3	ハイキングクラブ緑の風	10	43	43
道央	室蘭岳	だんぱらスキー場上	9/3	なかよし・伊達大西・壮警重盛・伊達小泉	4	60	60
道南	長万部岳	大峯温泉コース	9/3	函館山楽会	20	20	20
日高	アポイ岳	冬島コース	9/3	津幡ほか	1	4	4
大雪	旭岳	ロープウェイ 姿見駅	9/3	反橋一夫・阿部博子・小宮律子	3	100	100
大雪	黒岳	山頂	9/3	仲俣善雄・小枝正人	2	136	136
東大雪	ウベヘサンケ	糠平コース	9/3	樋口みな子	1	21	21
十勝	富良野岳	十勝岳温泉	9/2	鈴木貞信	1	65	65
十勝	美瑛富士	美瑛富士 避難小屋	9/3	横須賀邦子・森田豊美	2	38	41
十勝	十勝岳	十勝岳 避難小屋	9/3	グループ・ド・ロシエ会員 13名 ほか 2名	15	35	35
夕張	芦別岳	山頂	9/3	岩村和彦・廣川明男・栗城幸二	3	10	10
道東	仁頃山	管理車登山口	9/3	作田博行	1	50	50
道東	羅臼岳	岩尾別コース	9/3	愛甲哲也・佐藤文彦	2	30	30
道北	利尻山	鴛泊・沓形コース	9/3	参加 23名・清掃登山は雨で中止	23	23	23
		19箇所	—	合計	105	791	788

平成 18年9月3日(日)が山のトイレデーでしたが、他の日に活動したのも掲載してあります。

2006山のトイレデー活動(活動概要・感想など)

山域	山名	実施場所	活動概要	感想・特記事項など
道央	空沼岳	万計山荘・山頂	9/2(土)4名で空沼岳で配布。9/2,9/3万計山荘前にて登山者に配布	—
道央	空沼岳	万計沢コース	—	—
道央	札幌岳	冷水コース	登山道では思っていたより落ちているゴミも少なかったし、トイレの跡も1箇所と少なかった。また登山道脇のトイレ道は1箇所あったが残置物無かった	マナー袋を配布した後、山頂にてメロンの種を捨ててあったり、メロンの皮を林の中に投げ入れた不心得者がいたのがショックだった
道央	手稲山	平和の滝コース	お疲れさまですとの励ましの声が多かった	山のトイレ問題に関心のある方が多くなった感じがした
道央	春香山	桂岡コース	—	—
道央	恵庭岳	ホロピナイコース	マナー袋は快く貰ってくれた	山のトイレデーの活動は大変だが継続して実施することが大事と感じた。新聞等で山のトイレ問題について多く書いてもらいPRが必要と思う
道央	室蘭岳	だんぱらスキー場上	AM6時～9時まで白鳥ヒュッテ前で登山者に配布	5時頃はまだ雨がちらついていたが、後には天気も回復。徐々に登山者も増え予定通り配布できた
道南	長万部岳	大峯温泉コース	登山者はゼロだった	—
日高	アポイ岳	冬島コース	長沼山岳会二人も参加しているとのこと。埼玉県のご夫婦は初めてこんな活動を知ったと言っていた	—
大雪	旭岳	ロープウェイ 姿見駅	・小宮が足を負傷中なので活動は登山道には行かず駅舎の出口で行った。出口のフェンスに幟を立てて出発前の登山者へ説明と共に袋とガイドを手渡した。(下から登る縦走者グループもいたので反橋さんに走って行って渡してもらった)。皆さんから「御苦労さま」「頑張ってる」という温かい声も沢山頂いた。 ・一般の観光客も非常に多い場所柄なので、一応ザックを所持している方を選別させて頂き、登山目的の方への配布をメインとした(一部周辺散策の方へも配布)	・携帯トイレ使った事がある、という方と持って歩いています、という方も数名づついた。以前より浸透しているとの印象を持った。 ・登山者に合わせて6:00スタートしたが当初はロープウェイ1台に少しの登山者。しかし、さすがに表銀座入口だけあって9:00頃から人が増えた。 ・観光客はそのまま駅舎から出ていくが、殆どの登山者は到着して必ず姿見駅のトイレで用を足してから出発していたのが印象的。 ・レンジャーの方がゴミ拾っていたが思ったよりゴミ少なかった。乗客は到着すると駅舎内でレンジャーからレクチャーを聞いて出発する効果も大きいと感じた。
大雪	黒岳	山頂	・黒岳登山競技会が開催されていて、山頂がゴールであった。この登山者が配布の対象となった。	・皆さん好意的に受け入れ、真剣にマナーガイドを見ている人が目についた。トイレ紙は持ち帰っているよ、と

			<p>・競技会が終了したころ、幟を持って黒岳石室のハイトイレを見に行く。再び山頂に戻り 14 時頃まで配布し、幟を持って下山。ゴミ、トイレ紙の落ちているものは皆無であった。</p>	<p>いう人もいてトイレ問題に対してかなり意識が高くなったと感じた。</p> <p>・旭岳から縦走してきた登山者が「旭岳でもやっていたヨ」と声をかけてくれ嬉しかった。</p> <p>・黒岳のハイトイレは今年オックスを4回ほど交換した。時々、発電機をまわす。特に設備的な改良はしていないとのこと(管理人)</p> <p>・7合目リフト終点の入山記録簿の所にマナーガイドが置いてありお礼を述べた。林野庁へ置くことへの了解依頼処置を勧められた。</p>
東大雪	ウハペサンケ	糠平コース	糠平コースの登山口に山のトイレの幟をたて、出発した。ロングコースなので登山者は少なくマナー袋を渡せたのは会員だけだったが、ティッシュの持ち帰りは徹底できた	—
十勝	富良野岳	十勝岳温泉	登山口に幟を立て、側に携帯トイレの外袋・中袋・脱臭剤等を展示し、駐車場でマナー袋・ガイドを配布した	<p>・携帯トイレを使っている、ペーパーだけはビニール袋で持ち帰っている、という人が数人いたのが嬉しい。</p> <p>・林野庁森林パトロールの二人に出会った。トイレ活動をも HP に載せるといって写真を撮って行きました</p>
十勝	美瑛富士	美瑛富士避難小屋～十勝岳望岳台	美瑛富士登山口に幟を立てマナー袋 25 部置いた(15 時に回収)。入林届けに昨日から入山者 9 名、縦走者を足しても推定 20 名程度か。トイレの目的であるマナー袋配布を多くしたいので十勝岳望岳台に移動。望岳台でロシ田中さんと会った。9 時出発、午前中は登山者数名とすれ違ったのみ、午後は 2 時ぐらいまで分岐点通過者が多く配布が集中した。旭川在住の外国人 3 名にマナー袋使い方と意味を説明	<p>・携帯トイレは知っているヨ、と言う方。マナー袋を受け取ると「ありがとう」と言われる方が多い。</p> <p>・出会った上富良野山岳会の人も「ザックに携帯トイレ入ってるよ」と背中を指した。5 年たつて携帯トイレが浸透してきたと感じる。</p> <p>・十勝岳からのコースやコースタイムを聞く人も多かった。十勝岳避難小屋を指して、ここにトイレがあればいいのにネと言った人が 3 名いた。</p>
十勝	十勝岳	十勝岳避難小屋	避難小屋に幟を立て、周辺を清掃	避難小屋より上の登山道すぐ脇の岩陰に 3 箇所トイレ紙があり回収。避難小屋周辺のゴミは思ったより多く、20L ぐらい回収
夕張	芦別岳	山頂	登山者数は少なかったが、全ての方が活動に理解を示してくれた。半面山付近でティッシュ 2 個回収。その他細かいゴミ、ユーフ小屋内のワイン瓶などの放置ゴミを担ぎ下ろした	ユーフ小屋側の河原に当日捨てたトキビの芯とゆで卵の殻があり回収。いつかは腐るというものの美観を損ねる生ゴミも必ず持ち帰りましょう

道東	仁頃山	管理車登山口	登山道にゴミは皆無、トイレ跡もなし	登山者が雌阿寒岳・黒岳に流れ予想の半分程度だった(前日の方が多かった)
道東	羅臼岳	岩尾別コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの大きなツアーが入っていた。</li> <li>・地図の取材で訪れていた佐藤氏にも手伝ってもらい、愛甲が羅臼平の清掃をしている間に三ツ峰の野営地をチェックしてもらった。テントが2張りあったが周囲はきれいだったとのこと。</li> <li>・羅臼平には5箇所ほどの大きなトイレ場がハイ松の陰にあり、全部で22のトイレ跡から使用済みの紙を回収した。ゴミも回収したが、全体的にはきれいであった。</li> <li>・銀冷水にテントが1張りあった。周辺の木陰にトイレ跡が6つ。紙を回収し、ゴミも回収した。少しアンモニア臭がした。</li> <li>・弥三吉水にも周辺の木陰にトイレ跡が6つあり。</li> <li>・マナーガイドとマナー袋を木下小屋と知床自然センターに配布してもらうよう依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー袋は皆さんに喜んでもらった。</li> <li>・携帯トイレを使いたいが、羅臼平にはブースがないから、という方がいた。羅臼平は踏み出し防止のロープがきちんと張ってある為、裸地拡大を抑制している可能性が考えられた。</li> <li>・硫黄山登山口が利用出来ないため、三ツ峰や二つ池に野営して硫黄山を往復する利用が増えることも考えられる。</li> </ul>
道北	利尻山	鷺泊・沓形コース	残念ながら利尻山では前日からの土砂降りと雷のため、清掃登山は中止とってしまった	ちなみに参加者は23名というこれまででない手応えだった。初回のトイレ参加者が3名だったことを考えると、このトイレが徐々に多くの人に浸透してきたと実感でき、とても嬉しく思った。また来年も、地元や利尻山のことを考えてくれる周辺地域の方々トイレを活用していきたいと考えている